

11

「やまぐち働き方改革」推進プロジェクト

概要

誰もが県内での就職の希望を叶え、その仕事を充実させるとともに、家庭や地域での生活も楽しむことができる社会を構築するため、新しい働き方の普及・定着や働きやすい職場環境づくり等の取組を推進する

重点策

- 39 働きやすい職場環境づくり
- 40 女性の「働きたい」を応援する取組の強化
- 41 高齢者、障害者等が希望に応じて働き続けられる環境づくりの推進

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★ (目標を達成)		
★★★★ (計画を上回る)		3	男性の育児休業取得率、25歳から44歳までの働く女性の割合 等
★★★ (ほぼ計画どおり)		1	65歳から69歳までの働く男女の割合
★★ (計画を下回る)		1	テレワーク導入企業の割合
★ (計画から大幅に遅れ)			

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらかといえば	そう思わない
県民実感度調査 (%)	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組など、誰もが働きやすい職場環境づくりが進んでいると思いますか。	13.3	46.3	38.5
若者や子育て世代に対する県民実感度調査 (%)	あなたの職場はワーク・ライフ・バランスが重視されていると感じますか。	48.6	26.0	25.3
	あなたの職場は、テレワーク等を活用した柔軟な働き方ができると感じていますか。	17.6	14.2	68.2

(3) 主な取組と成果

主な取組と成果	<p>◆働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「育児休業取得率 100%」及び「1か月以上の育休取得」を推奨する企業を「やまぐち“とも×いく”応援企業」として登録し、育児休業の取得促進や共育でしやすい職場環境づくりの取組を支援。(令和7年3月末現在 925件登録し、「山口県もっと育休奨励金」を856件支給) ○ 県庁において、多種多様な行政ニーズに的確に対応し、新たな行政サービスの創出に繋げるため、また、その前提として、職員自身が仕事にやりがいを持ち、充実した生活を送ることができるよう、『行政 DX・新たな価値を創出する働き方改革』(やまぐちワークスタイルシフト) をスタートし、デジタル技術等を活用した新たな働き方の推進に係る職員提案の実現に向けた取組などを実施。 ○ 初任給や若年層の賃金引上げを実施した中小企業に対し、「初任給等引上げ応援奨励金」を支給するとともに、新たに賃金規定や評価制度を導入するモデル事業所を創出。(515件支給) ○ 時間や場所にとらわれない多様な働き方やテレワーク等のデジタル技術の活用により可能となる働き方など「新しい働き方」の普及・定着に向け、企業の課題を抽出し、専門家が助言等を行うワークショップや、機器のトライアル利用などの伴走支援を実施。(89社107名がワークショップに参加し、うち69社を伴走支援) ○ 若者、女性、高齢者等多様な人材が活躍できる職場環境づくりに成果を上げている「誰もが活躍できるやまぐちの企業」の認定企業数が令和7年3月末現在 125社 となった。
---------	--

◆女性の「働きたい」を応援する取組の強化

- 女性の時間的制約に応じた雇用を創出するとともに、子育て経験等を強みとして仕事への活用につなげる就業を支援するため、未就業女性と県内企業の新たな出会いの場となるマッチングイベントを開催。(企業 67 社、女性 68 名が参加し、47 名の雇用を達成)
- 企業等における**女性の職域拡大や就業継続**の取組を促進するため、「**女性活躍促進施設整備補助金**」により、女性専用トイレの整備等、働きやすい職場環境づくりを支援。(支給件数：24 件)
- **未就業等の女性に対し、プログラマー養成講座**を実施し、インターンシップ等の就業支援を実施。(受講者 77 名、修了者 43 名、就職者 27 名)
- 女性活躍の取組を全県に波及させるため、産学公の代表者で構成する「やまぐち女性活躍応援団」による地域シンポジウムを開催し、女性活躍に積極的に取り組む企業等の好事例を経営者や大学生等に P R することにより、各事業所の取組を促進(参加者 141 名、内オンライン 31 名)

◆高齢者、障害者等が希望に応じて働き続けられる環境づくりの推進

- **シニアの希望に応じた就業の実現**に向け、就職を応援するセミナーを開催。(6 回実施、91 人参加)
- **障害者の雇用を推進する職場リーダーを養成**する講座を開催し、企業の取組を促進。(30 社 35 人参加)

(4) 総評

総評

誰もが県内での就職の希望を叶え、仕事と家庭生活の両立が可能となる魅力ある雇用の場づくりに向けた取組を進めた結果、「やまぐち“とも×いく”応援企業」の登録企業数が大幅に増加するなどの成果が得られたが、依然として、若年層(30 歳~34 歳)女性の有業率が低いことや、ワーク・ライフ・バランスに対する県民の実感度が高まっていないこと、高齢者、障害者等が担い手として活躍するための就業環境整備への対応が課題となっている。

(5) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

◆働きやすい職場環境づくり

- 男女ともに仕事と育児・家事の両立が可能となる職場環境づくりが促進されるよう、育児休業の取得促進や子育てしやすい職場環境づくりに取り組む企業を支援する必要がある。
- 若年層の県内への就職や定着が促進されるよう、若年層の賃金引上げに向けて取り組む企業を支援する必要がある。
- 人手不足等を克服するため、働き方改革実践モデルの創出・展開を図るとともに、デジタル技術の活用により可能となる働き方など「新しい働き方」の導入を支援し、多様な人材が活躍できる職場環境づくりを促進する必要がある。
- 人口減少やデジタル技術の進展などにより社会が大きく変化する中、多種多様な行政ニーズに的確に対応し、新たな行政サービスの創出に繋げるため、県庁が率先して進めている「行政 D X・新たな価値を創出する働き方改革」の成果を「やまぐちワークスタイルシフト」として、民間企業・団体等に波及させていく必要がある。

◆女性の「働きたい」を応援する取組の強化

- 女性の希望に応じた働き方を実現できるよう、就業に向けたスキルアップや女性が働きやすい雇用環境づくりを支援するとともに、多様な就業機会を提供する必要がある。
- 「やまぐち女性デジタル人材育成コンソーシアム」の参加企業等を増やし、県内全域へ取組を拡げることで、女性デジタル人材育成の取組の機運醸成を図る必要がある。

◆高齢者、障害者等が希望に応じて働き続けられる環境づくりの推進

- 働く意欲のある高齢者、障害者等の多様な人材が産業を支える担い手として活躍できるよう、就業環境の整備を支援するとともに、多様な就業機会を提供する必要がある。

(参考) 令和7年度の主な新規・拡充取組

新 やまぐち女性の就業応援事業

未就業女性の多様なニーズに応じた就業機会の創出やお試し就業の実施、企業に対して働きやすい職場環境整備等への支援を行い、女性の希望に応じた就業を促進

拡 シニア就業促進事業

未就業シニアの潜在能力や個性を活かす就業支援やお試し就業の実施により、シニアの希望に応じた就業を促進

拡 障害者雇用促進事業

障害者雇用に係る事業主の理解及び関係機関との連携を促進するとともに、障害者の職業訓練や就職面接会等を実施することにより、障害者の意欲と適性に応じた就労を支援し、障害者の雇用を促進